



平成 28 年 12 月 6 日
内閣府（防災担当）

国際復興フォーラム2017「～災害復興におけるBuild Back Betterと健康で強じんなコミュニティを目指して～」の開催について

被災地の復興過程において、次の災害に備えたより強靱な社会を構築する「よりよい復興」の実現を目指して、我が国や関係国連機関等の連携により国際復興支援プラットフォーム（International Recovery Platform：IRP）が、2005年の第2回国連世界防災会議の成果の一つとして、同年に発足しました。

IRPでは、関係機関の協力の下、復興優良事例などの情報提供、地域復興の助言、能力開発などの活動を行っており、この「国際復興フォーラム」も、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムでは、第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で重要な課題と認識されている「Build Back Better（より良い復興）」と健康、保健・医療分野に着目し、災害復興と保健・医療対策等の実践や経験を共有するとともに、そこから得られた知識や教訓への討議を通じて、「Build Back Better（より良い復興）」へ向けた成果として世界へ発信します。

- 1 日 時 平成 29(2017)年 1 月 24 日（火） 9:45～16:00
- 2 場 所 兵庫県神戸市（ホテルオークラ神戸 1 階「平安の間」）
- 3 主 催 内閣府、IRP 事務局、兵庫県、アジア防災センター（ADRC）、
国連国際防災戦略事務局（UNISDR）
- 4 参加者 各国政府、地方自治体、IRP 構成機関の関係者 等
- 5 会議概要
 - ・特別講演：「持続可能な開発のための 2030 アジェンダの観点から、災害からのより良い復興の実現を目指して」
 - ・パネルディスカッション 1：
「災害に強いコミュニティ構築へ向けた Build Back Better の取組」
 - ・パネルディスカッション 2：
「災害復興過程における保健・医療対策の整備」

6 取材について

本フォーラムは公開で行います。取材を希望される場合は、事前に IRP 事務局担当者（本件問合せ先参照）に電話又は E-mail で連絡をお願いします。なお、当日の取材場所やカメラの位置などは、会場担当の指示に従ってください。

<本件問合せ先>

- 現地での取材及びフォーラム内容に関すること

IRP 事務局

担当：塩見、松浦 TEL:078-262-6041 E-mail: info@recoveryplatform.org

- その他全般に関すること

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）付

担当：駒田、森脇 TEL 03-3502-6983 FAX 03-3581-7510



国際復興フォーラム

～災害復興におけるBuild Back Betterと
健康で強じんなコミュニティを目指して～

参考資料

2017

International Recovery Forum ～Build Back Better Towards Resilient and Healthy Communities～

日時：2017年1月24日(火)9:45～16:00

場所：ホテルオークラ神戸「平安の間」

Date : 24 January 2017 (Tuesday) 9:45-16:00

Venue : Hotel Okura Kobe, Hyogo, Japan



開催趣旨

国際復興支援プラットフォーム (IRP) は、災害からの「Build Back Better (より良い復興)」を促進するための国際的な協力の枠組として、2005年の第2回国連防災世界会議の成果として日本政府や国連機関等の連携により設立されました。

2015年の第3回国連防災世界会議での仙台防災枠組の採択を受けて、「『Build Back Better』に関する経験と教訓を共有するための国際的なメカニズム」としてのIRPの役割への期待が高まっています。国際復興フォーラム2017では、次の2つを目的に、国内外からハイレベル政策決定者や実務家、著名な専門家等を兵庫県に招いて、各国の災害復興に関する実践や経験を共有するとともに、そこから得られた知識や教訓への討議を通じて「Build Back Better」へ向けた成果として発信します。

1. 仙台防災枠組の採択後、気候変動に関するパリ協定や持続可能な開発のための目標 (SDGs) を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において自然災害の脅威が強く認識されるなど、防災に関する国際アジェンダを取り巻く環境の進展を踏まえた議論を通じて、「Build Back Better」への知識と理解を深めること
2. 健康は防災における重大な課題として、仙台防災枠組で「健康に対する災害リスク及び損失を大幅に削減する」ことが掲げられているだけでなく、グローバル・フレームワークの共通の優先課題として取り上げられるなど、その重要性を踏まえて「Build Back Better」の観点から健康アジェンダに関する戦略と実践を探索すること

Background & Objective

The International Recovery Platform (IRP) was established in 2005 as an international source of knowledge on good recovery practice. In 2015, following the adoption of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030, IRP embraced a more specialized role as an international mechanism for sharing experience and lessons associated with build back better.

Health remains a critical disaster risk reduction (DRR) issue, and in recognition of this, health is now given greater emphasis in both the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction and the Sustainable Development Goals. The International Recovery Platform, in response to these new global frameworks, has reinvigorated its role to meaningfully discuss “Build Back Better” and learn more about actions for recovery, rehabilitation, and reconstruction. In this context, it is important to explore whether and how health considerations are taken into account in the recovery and reconstruction process.

The Forum 2017 is an opportunity to enhance sharing of experience and learning on “Build Back Better” towards resilient and healthy communities.

The general objectives of the International Recovery Forum 2017 are:

1. To explore knowledge and understanding of “Build Back Better” in recovery, rehabilitation, and reconstruction through sharing of country experiences; and
2. To explore strategies and actions of health agendas in the context of “Build Back Better”

主催 / Organizers

国際復興支援プラットフォーム(IRP)、内閣府、兵庫県、アジア防災センター(ADRC)、国連国際防災戦略事務局(UNISDR)

International Recovery Platform (IRP), Cabinet Office, the Government of Japan, Hyogo Prefectural Government, Asian Disaster Reduction Center (ADRC), United Nations Office for Disaster Risk Reduction (UNISDR)

後援(予定) / Supported by (tbc)

外務省
Ministry of Foreign Affairs (MoFA) of Japan
NHK神戸放送局
NHK Kobe

使用言語 / Language

日本語・英語(日英同時通訳有り)
English and Japanese (with simultaneous interpretation)

申込方法 / Registration

参加希望の方は、IRPホームページ掲載の申込書に必要な事項を記入のうえ、e-mailまたはFAXでお申し込みください。
All participants are required to register via e-mail or fax by filling in the registration form downloaded from IRP website.
※個人情報は、参加申込のみに使用します。
Privacy Policy: IRP Secretariat uses the personal information only for registration purpose

問い合わせ先/Contact

国際復興支援プラットフォーム(IRP)事務局
TEL: 078-262-6041
FAX: 078-262-6046
Email: info@recoveryplatform.org

Please visit the IRP website for more information:

International Recovery Platform



プログラム（予定）

- 9:45～10:05 **開会あいさつ**
 ステファン・コーラー IRP 運営委員会議長(国連プロジェクト・サービス機関(UNOPS)プログラム部門長)
 内閣府
 井戸敏三 兵庫県知事
- 10:05～10:55 **特別講演**
 「持続可能な開発のための 2030 アジェンダの観点から、災害からのより良い復興の実現を目指して」
- 10:55～12:25 **専門家・有識者によるパネルディスカッション1**
 「災害に強いコミュニティ構築へ向けた Build Back Better の取組」
- 12:25～12:40 **集合写真撮影**
- 12:40～13:40 **昼食（各自）**
- 13:40～15:10 **専門家・有識者によるパネルディスカッション2**
 「災害復興過程における保健・医療対策の整備」
- 15:30～16:00 **総括・閉会**
 佐谷説子 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）

会場：ホテルオークラ神戸「平安の間」

〒650-8560 神戸市中央区波止場町 2-1
 Tel 078-333-0111 Fax 078-333-6673
 URL www.kobe.hotelokura.co.jp

◎JR・阪神「元町」駅東口より南へ徒歩 10分
 又は

◎三宮バスターミナル（ミト神戸 1F）8番より北行行き
 無料シャトルバス有り（ホテルHPでご確認下さい）



「国際復興フォーラム 2017」申込用紙 (FAX 078-262-6046 / e-mail: info@recoveryplatform.org)

所属 (組織名、学校名)	
フリガナ	
お名前	
住所・電話番号	〒 Tel
E-mail	

※ ご記入後、下記まで FAX、郵送によりお申込みいただくか、Eメールにてご連絡ください。

※ 個人情報は、当フォーラム以外には使用いたしません。